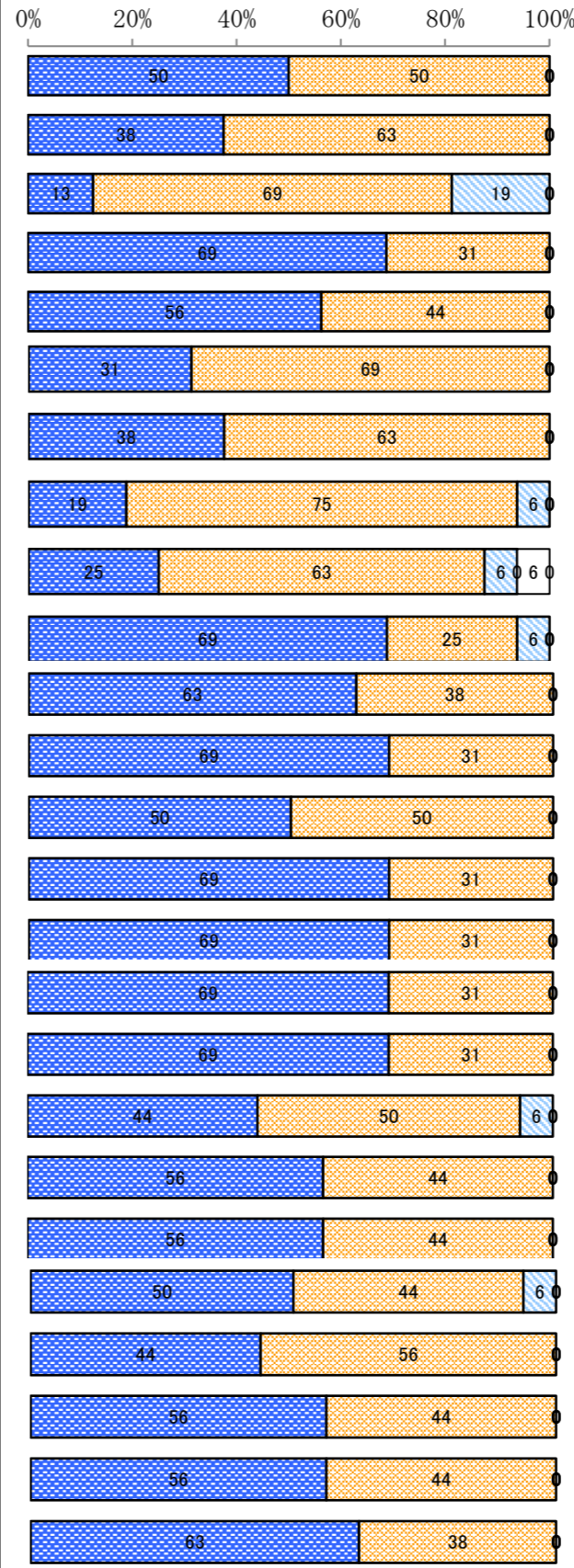
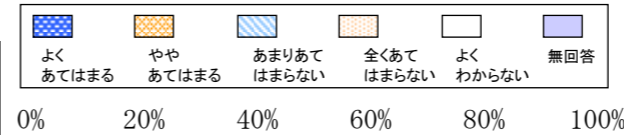


		アンケートの結果		上段：児童 下段：保護者等 グラフ：教職員						
		A	B	C	D	よく分らない	無答			
学校全体の様子	1 教育目標・方針	児童・生徒や保護者等と共有できるように学校の教育目標を示し、方針を説明している。	43	42	10	0	5	0		
	2 児童・生徒の様子	児童・生徒は、明るく素直で、生き生きとした楽しい学校生活を送っている。	68	26	4	1	2	0		
	3 基本的な生活習慣	児童・生徒の服装や通学態度、挨拶など基本的な生活習慣がしっかりしている。	53	36	8	2	1	0		
	4 児童・生徒理解	児童・生徒の良さや努力しているところを見つけ、励まし、理解しながら一人一人の能力を伸ばすように努めている。	45	37	12	2	4	0		
	5 健康・安全・安心	児童・生徒の健康や安全（確保・対策）に配慮するとともに、主体的に行動できる防災教育を充実している。	66	24	7	2	1	0		
学力向上の取組	6 分かる授業	楽しく分かりやすい授業が実践されている。	59	31	8	0	1	0		
	7 個に応じた指導	習熟度別学習等、児童・生徒一人一人の理解の程度に応じた学習指導が行われている。	61	33	4	1	1	0		
	8 学習習慣	放課後の補充指導等を行うとともに、家庭での学習課題を提示する等、学習習慣の定着を図る工夫をしている。	60	25	9	4	2	0		
	9 情報教育	タブレットPCなど、ICT機器を活用した教育を推進しながら、情報活用能力の育成に向けて取り組んでいる。	58	30	8	2	2	0		
	10 学校図書館の活用	読書と学習に役立つ学校図書館として活用されている。	58	31	9	1	1	0		
社会性・人間性の育成	11 人権教育	自他を大切にし、偏見や差別を許さない豊かな人権感覚を育てる教育を行っている。	67	28	4	1	1	0		
	12 道徳教育	生命を大切にする気持ちや他人を思いやる心、善悪の判断や規範意識を育てる等、道徳性をはぐくむ教育を行っている。	52	36	8	2	2	0		
	13 教育相談	教育相談を充実し、いじめや不登校を防止する等児童・生徒一人一人の居場所がある学校づくりに努めている。	44	32	17	5	3	0		
	14 人間関係づくり	学校行事等の教育活動を工夫し、体験活動を充実させながら望ましい人間関係が築けるよう取り組んでいる。	77	19	3	0	1	0		
	15 自治的な活動	学級活動や児童会・生徒会活動等で、児童・生徒が自発的・自治的に活動できるように工夫しながら指導している。	67	26	5	1	1	0		
保護者・地域との連携	16 情報発信	学校便りや学年便り、学校ホームページ等で、保護者や地域の方に、学校の教育活動の様子を分かりやすく知らせている。	49	28	9	2	11	0		
	17 相談への対応	児童・生徒や保護者からの連絡や相談を丁寧に受け止め、適切な対応をしている。	57	31	7	2	2	0		
	18 学校への参加	学校公開週間や土曜授業日、学校行事等では、保護者や地域の方が参加しやすいように工夫している。	55	29	10	3	4	0		
	19 地域との連携	地域の行事などに協力的で、連携を図っている。	38	32	22	5	3	0		
	20 意見の反映	保護者や地域から寄せられた意見や要望を受け止め、学校運営と教育活動の改善に努めている。	53	28	6	3	11	0		
各学校の特色ある教育	21 確かな学力の定着	放課後の学習や家庭学習の取り組みを通して、児童の確かな学力の定着のための指導を行っている。	43	31	17	6	3	0		
	22 規範意識の向上	周りに流されず、自ら判断して望ましい言動ができるように、継続した指導を行っている。	37	48	11	0	3	0		
	23 集団活動の充実	自己の役割を自覚し、仲間と協力できるよう集団活動の充実を図っている。	55	36	5	1	3	0		
	24 安全意識の向上	危険を察知し、回避し、児童が安全な生活を送ることができるように指導を行っている。	59	31	6	1	2	0		
	25 健康・体力の向上	食育や体育の指導を通して、児童の心と体の健康、体力の向上のための指導を行っている。	57	30	7	2	4	0		

無効票を除く(%)



無効票を除く(%)

学校の自己評価（考察）

学校だより、学校ホームページ、グループクラスルームを活用し、広報活動を実施することができた。特に今年度は、クラスルームとスクリーンを効果的に活用することができた。

肯定的回答が9割を超え、経年比較においても児童の回答が向上している。また、保護者からA回答が5割近く得られた。ほとんどの児童が楽しく学校生活を送ることができたことがうかがえる。

児童の回答傾向に変化が見られないが、保護者の肯定的回答に低下が見られる。基本的な生活習慣に関わる指導を継続して実施していく。

肯定的回答が8割を超えている。特に児童の回答が経年で向上していることから、ここ数年での取組の成果がよく表れている。

感染症対策に変化があったが、肯定的回答が9割前後となっていることから、健康・安全教育の効果がよく反映されている。特に保護者からは9割5分の評価をいただき、学校の取組がよく伝わっていると考えられる。

児童と教職員の肯定的回答が9割であるのに対して、保護者は8割程度ある。授業改善への取組が成果として表れている。

児童と教職員の肯定的回答が8割以上であるのに対して、保護者は7割程度で「よく分らない」の回答が2割弱である。積極的に取組内容の発信をすると共に、個々の実態把握や指導改善を図っていききたい。

肯定的回答が8割を超えている。経年で比較すると児童と教職員が4ポイント程度の向上がみられた。家庭学習への取組も継続的、組織的に進めていきたい。

児童と教職員の肯定的回答が8割5分程度あり、ICT機器の活用が定着してきた。一方で保護者の肯定的回答は7割となり「よく分らない」の割合が増えてきている。さらに、家庭で活用したり、学校での取組を保護者に発信したりしていく必要がある。

児童の肯定的回答が9割近くに向上してきている。これまでの取組の成果がよく表れている。一方で保護者の肯定的回答が前年度より減少しているため、家庭と連携した取組を強化していきたい。

児童のA回答の割合が毎年3ポイントずつ向上している。保護者の評価は前年度と大きな変化が見られなかった。引き続き、原因究明と情報発信に努めていきたい。

児童の評価が4年連続で向上しており、ここ数年の取組の成果がよく表れている。道徳教育推進教師を中心に、さらなる改善を図っていききたい。

児童、保護者の肯定的回答が前年度より向上した。保護者の「よく分らない」の回答が依然として2割程度であるため、教育相談についての啓発を積極的に進めていく。

3者ともに9割5分以上の肯定的回答が得られた。学校行事、体験活動の充実が成果に繋がっていると考えられる。引き続き、丁寧な対応と育成に取り組んでいく。

児童の肯定的回答が前年度より6ポイント向上した。一方で保護者の肯定的回答が年々減少傾向にある。土曜授業や学校公開週間等で、児童の学級活動の様子を参観できる機会を増やしていく。

肯定的回答が8割を超え、良好といえるが児童と教職員の評価に乖離がみられる。グループクラスルーム等を活用し、児童が理解しやすいように発信していく必要があると考える。

相談への対応については、概ね良好であるといえる。引き続き、教職員間で連携をとりながら、適切な児童理解や丁寧な保護者対応を心がけていく。

コロナウイルス感染症への対応が変化したこともあり、保護者の肯定的回答が大きく上昇した。来年度も、できる限り学校を開き、保護者や地域と触れ合える機会を多く設定していく。

設問18と同様の傾向である。地域行事が復活し、それに参加する児童が多く見られた。来年度も、地域と様々な面で連携を図っていききたい。

保護者の肯定的回答が微増したが、「よく分らない」の回答が毎年多く、改善が必要である。学校関係者評価や各種アンケートの結果など積極的に発信していく。

児童、保護者ともに肯定的回答が向上した。今年度の校内研究や学力向上への取組の成果が表れている。来年度も引き続き指導の充実を図っていく。

肯定的回答が8割を超え、経年でも改善傾向がみられる。実態と照らし合わせると課題も多い現状がある。組織的、継続的に指導をしていきたい。

児童の肯定的回答が大幅に向上している。特別活動やキャリア教育の充実のほかに、児童の自己肯定感の向上と人間関係があると考える。

本項目は、改善傾向にあったが、今年度は前年度より減少傾向がみられた。児童に具体的な場面を提示し、考えさせる指導を増やしていくなど安全指導の充実を図る。

設問24と同様の傾向である。体力テストの結果からは依然として課題も多い。体育科の授業、体育的行事、保健指導の充実を図っていく。